

崇校だより

横浜市情報ネットワーク（ＹＹネット）上に本校のホームページがあります。

横浜市立十日市場小学校
春休み直前号
令和4年3月25日（金）
緑区十日市場町 1392-1
電話 981-0420・7119
FAX：983-1694

成功の反対は…挑戦しないこと

校長 平田 あや

学校の周りの木々から鶯の鳴き声が聞こえ始めた3月18日。6年生が卒業式を終え、立派に巣立っていきました。今年度も、新型コロナウイルス感染症のため、様々な活動が中止や縮小になりました。けれども、6年生の子どもたちは、いつも前を向き、今できることに精一杯取り組む姿を見せてくれました。

厳かな雰囲気の中で、一人ひとりが卒業証書をしっかり受け取りました。自覚や決意を胸に秘めた子どもたちの瞳の輝きや表情の美しさは、感動すら覚えるものでした。

式辞では、「失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦してほしい」という願いを込めて、次のようなメッセージを贈りました。

卒業式式辞（抜粋）

校庭の木々の蕾が膨らみ、十日市場小学校も、春の息吹が感じられる季節になりました。このよき日に、門出の時を迎えた105名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんの今年度の学年目標は、「限界突破」。自分自身にブレーキをかけずに、より高い目標を掲げ努力する。皆さんは、いつもこの言葉を胸に、最高学年として努力を重ね、その後姿を下級生に示してくれていました。

さて、みなさんに質問です。「右」の反対は「左」。「大きい」の反対は「小さい」。では「努力して成功する」。この「成功」の反対は何でしょう。国語辞典には「成功」の反対は「失敗」と書かれています。しかし、人の生き方—人生において「成功」の反対は「失敗」ではありません。では「成功」の反対は何なのか。

皆さんは、トーマスエジソンを知っていますか。生涯で1300個もの発明をした世界の「発明王」です。今、私たちの生活の中には、彼が生み出した技術や製品が溢れています。例えば電球です。この発明のおかげで、夜でも明るい時代がやってきました。

エジソンは、電球を発明するまでに、1万回以上実験を行いました。つまり、1万回失敗したわけです。しかし、彼は決してくよくよすることはありませんでした。「私は、失敗などしていません。うまくいかない方法を1万通りも発見したんだ。」エジソンの言葉です。彼は、「失敗」は改良点を見つけるチャンス。成功に近づくための大切なプロセスだと考えていたのです。

人は、失敗を怖がりがちです。でも、挑戦には、失敗がつきものです。失敗しない人は、絶対に成功もしません。その人は、挑戦をしていないからです。だから、人生において、「成功」の反対は、「何もしないこと、挑戦しないこと」なのです。

みなさんは、これからの人生で、たくさん「失敗」を経験するでしょう。しかし、あなた方の周りには、苦しいときにも励まし応援してくれる仲間やご家族、先生方がいるはずですよ。失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦してください。そして、失敗から学び、自分を成長させ高めていってください。

（以下 省略）

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中、来年度の動きもまだまだ流動的ではありますが、しかし、在校生も、2週間後には新しい学年に進級します。良いスタートを切れるような時間を過ごしてほしいと思います。

最後になりましたが、本校の教育活動を支えていただいた保護者や地域の皆様、本当にありがとうございました。来年度も、職員一同、保護者・地域の皆様と手を携えて、のびのびと学び合える、笑顔いっぱいの十日市場小学校を創っていきます。

どうぞよろしく願いいたします。